

製品名: PSD-95 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16593**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	DLG4
別名	DLG4; PSD95; Disks large homolog 4; Postsynaptic density protein 95; PSD-95; Synapse-associated protein 90; SAP-90; SAP90
遺伝子 ID	1742.0
SwissProt ID	P78352
免疫原	抗血清はヒト PSD-95 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 253-302

背景

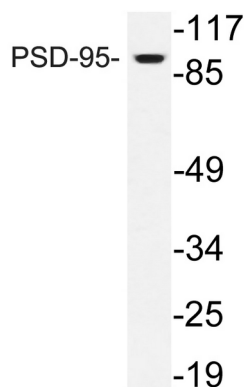
この遺伝子は、膜結合型グアニル酸キナーゼ (MAGUK) ファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子は、別の MAGUK タン

パク質である DLG2 とヘテロ多量体を形成し、NMDA 受容体およびカリウムチャンネルクラスターにリクルートされます。これら 2 つの MAGUK タンパク質はシナプス後部位で相互作用し、受容体、イオンチャンネル、および関連シグナル伝達タンパク質のクラスター形成のための多量体骨格を形成すると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン: アイソフォーム 2 の N 末端付近にある L27 ドメインは、シナプス後肥厚部への HGS/HRS 依存性ターゲティングに必要です。、ドメイン: PDZ ドメイン 3 は ADR1B との相互作用を媒介します。、機能: NMDA 受容体サブユニットおよびシューカー型カリウムチャンネルの細胞質末端と相互作用します。NMDA 受容体シグナル伝達に関連するシナプス可塑性に必要です。 DLG4 の過剰発現または枯渇は、海馬ニューロンにおける興奮性シナプスと抑制性シナプスの比率を変化させます。 ACCN3 酸誘発電流の振幅は、チャンネルを細胞内に保持することで低下する可能性があります。 ADR1B の細胞内輸送を制御する可能性があります。、PTM: アイソフォーム 1 のパルミトイル化は、シナプス後密度への標的化に必要です。、類似性: MAGUK ファミリーに属します。、類似性: グアニル酸キナーゼ様ドメインを 1 つ含みます。、類似性: SH3 ドメインを 1 つ含みます。、類似性: PDZ (DHR) ドメインを 2 つ含みます。、類似性: PDZ (DHR) ドメインを 3 つ含みます。、細胞内局在: 前脳ニューロンのシナプス後密度に高いレベルで存在します。また、プルキンエ細胞の軸索丘陵上の小脳バスケット細胞によって形成される抑制性シナプスのシナプス前領域に存在します。サブユニット:ANKS1B および PRR7 と相互作用します (類似性による)。最初の 2 つの PDZ ドメインを介して、GRIN2A、GRIN2B、GRIN2C、GRIN2D、ACCN3、GRIN1 の特定のスプライスフォーム、KCND2、CXADR、および SYNGAP1 と相互作用します。2 番目の PDZ ドメインを介して、NOS1 の PDZ ドメインまたは CAPON の C 末端と相互作用します。 HTR2A と相互作用する可能性があります。 グアニル酸キナーゼ様ドメインを介して、DLGAP1/GKAP、DLGAP2、DLGAP3、DLGAP4、MAP1A、および BEGAIN と相互作用します。3 番目の PDZ ドメインを介して、CRIPT と相互作用します (類似性による)。最初の 2 つの PDZ ドメインを介して KCNA1、KCNA2、KCNA3、KCNA4、ERBB4 と相互作用する。最初の PDZ ドメインを介して GRIK2、KCNA4、CRIPT と相互作用する。3 番目の PDZ ドメインを介して NLGN1 と相互作用し、おそらく NLGN2 および NLGN3 とも相互作用する。グアニル酸キナーゼ様ドメインを介して KIF13B と相互作用する。アイソフォーム 2 は L27 ドメインを介して HGS/HRS および CASK の最初の L27 ドメインと相互作用する。 LRFN1 と相互作用する。、組織特異性: 脳。、

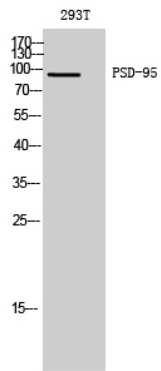
研究分野

ハンチントン病;

画像データ



PSD-95 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



1: 1000 に希釈した PSD-95 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析